

事務事業評価シート (評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名										こども110番の家事業										②事業番号		7604	
③事業類型		8. 人件費事業						④開始年度		平成		9 年度		⑤終了予定年度		年度		○ 設定なし					
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱		計画等		○ その他		法令等の名称		女性・子どもを守る施策実施要綱							
⑦実施手法		直営		全部委託		一部委託		補助・負担		その他													
⑧関連予算科目コード				款		9		項		5		目		1		細目		1					
⑨担当部名				⑩担当課名														会計		一般会計			
教育部				生涯学習課																			

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市内幼稚園、小学校、中学校の児童・生徒	① 生徒、児童数(幼、小、中)	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
子どもの登下校における安全確保を目的とし、小学校を通じて、校区の保護者、個人、事業者に対し協力を求め、「こども110番」の旗の配布を行っている。	① 新規配布数	枚
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
「こども110番」の旗の掲示により、犯罪の抑制及び、家庭、地域が連携し、子どもを犯罪から守る。	① 新規配布率	%
	① 計算式 新規配布数/児童生徒数	
	②	
	② 計算式	
	③	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
「こども110番」の旗の配布数が増加することにより、個人、事業者の協力者が拡大し、市全体で見守ることで犯罪の抑止につながる。	政策(章)	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち
	施策大(節)	2 暮らしの不安や生活をおびやかす危険のないまちをめざします
	施策中	1 防犯対策の充実
	施策小	1 防犯活動の充実

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	生徒、児童数(幼、小、中)	人	6,081	5,848	5,624	5,752	5,700	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	新規配布数	枚	592	397	322	350	350	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	新規配布率	%	10	7	6	6	6	
成果指標②								事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.06	0.06	0.06	0.06		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円	482	482	486	486		—
財源内訳	人件費(投入人員*単価)	千円	0	0	0	0		
	直接事業費	千円	482	482	486	486		
	総事業費	千円	0	0	0	0		—
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	受益者負担金	千円	0	0	0	0		—
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	482	482	486	486		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	子どもに対する犯罪の未然防止対策のため開始され、平成11年12月16日付警察庁次長依命伝達により制定された「女性・子どもを守る施策実施要綱」が本事業の根拠となっている。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	長期間事業を行っているため、協力いただいている家庭や商店が一定数いるため新規件数は減少傾向にあるが、子どもたちが犯罪に巻き込まれる事件があとを絶たないため、一層の啓発活動に努める。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	平成30年度においてこれまでの協力依頼に加えて、市出先機関および市内コンビニエンスストアにおいて協力依頼を行っている。

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	子どもに対する犯罪を未然に抑止することにより防犯対策の充実が図られる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	行政が地域、家庭、学校のパイプ役となり、全市的に安全を守る必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	子どもが犯罪に巻き込まれる事件が多い中、子どもの安全は市の責務である。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	子どもが犯罪から逃げる緊急避難所的な位置づけのため、一層の拡大が望まれる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	継続して協力いただいている方が一定数いるため、新規の配布数、協力者が頭打ちになっている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	協力者数の増加のため、情報提供に努め、家庭以外に事業所にも協力を求める必要がある。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	統廃合では無く、防犯等の事業と連携してより大きな効果を生みだせることを検討する余地はある。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	市民、事業所の協力により運営されており、最小のコストで実施されている。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	協力を依頼しているもので受益者負担を求めるような事業では無い。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	近年の子どもが犯罪に巻き込まれる事件が多発する中、市内各個人、事業者にも更なる協力を依頼する。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	↓ <今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など			近年の子どもが犯罪に巻き込まれる事件が多発する中、市内各個人、事業者にも更なる協力を依頼する。		
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策			協力者獲得のための丁寧な説明、普及啓発。		